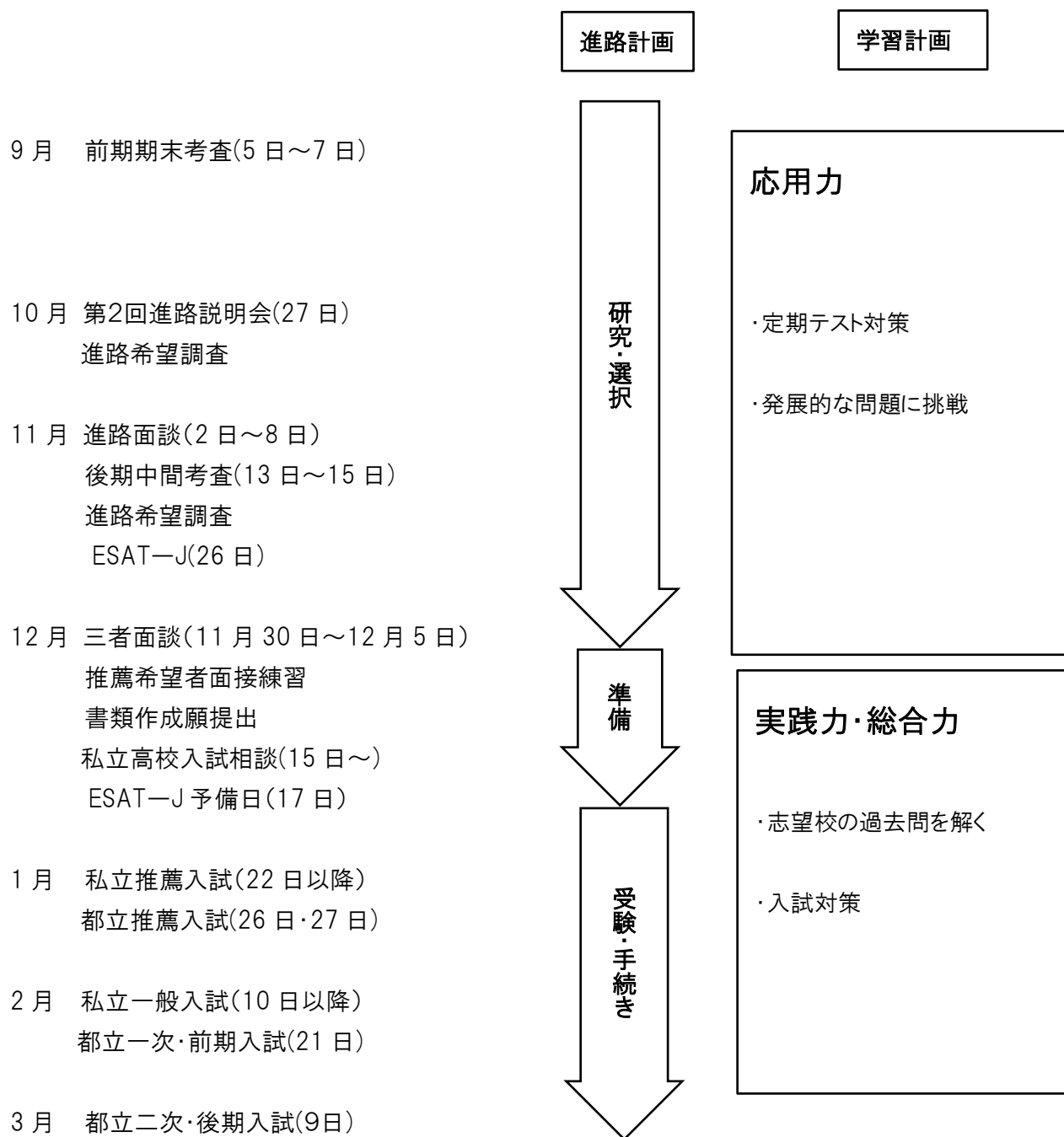


**渋谷区立
渋谷本町学園中学校
第2回 進路説明会資料**



令和5年10月 27 日(金)実施

I 進路関係日程



自分のスケジュールをつくろう！
カレンダーなどを活用して、自分で入試に関わる計画表をつくろう。

Ⅱ 都立入試について

1 入試日程

(1) 全日制都立高等学校の入試日程

区分等		項目	入学願書受付	志願変更		学力検査等	合格者の発表	入学手続き
				入学願書取下げ	入学願書再提出			
		推薦に基づく入試	【入力期間】 12月20日(水)～ 【書類提出】 1月12日(金)～ 18日(木)			1月26日(金)・ 27日(土) ※原則として 1日で実施	2月2日(金) 午前8時30分 合否照会サイトで発表 午前9時30分 校内掲示	2月2日(金) 午前9時30分～ 午後3時30分 2月5日(月) 午前9時～正午
学力検査に基づく入試	第一次募集 及び 分割前期募集	【入力期間】 12月20日(水)～ 【書類提出】 1月31日(水) ～2月6日(火)	2月13日(火) 午前9時～ 午後3時	2月14日(水) 午前9時～ 正午	2月21日(水) 集合 午前8時30分	3月1日(金) 午前8時30分 合否照会サイトで発表 午前9時30分 校内掲示	3月1日(金) 午前9時30分～ 午後3時30分 3月4日(月) 午前9時～正午	
	分割後期募集 及び 第二次募集	3月6日(水) 午前9時～午後3時	3月7日(木) 午前9時～ 午後3時	3月8日(金) 午前9時～ 正午	3月9日(土) 集合 午前8時30分	3月14日(木) 午前8時30分 合否照会サイトで発表 正午 校内掲示	3月14日(木) 正午～午後3時 3月15日(金) 午前9時～正午	

・合格発表は後日指定されるウェブサイトにて個別に合否照会をする。

(2) 定時制都立高等学校の入試日程

区分等		項目	入学願書受付	志願変更		学力検査等	合格者の発表	入学手続き
				入学願書取下げ	入学願書再提出			
定時制	第一次募集	(1)と同じ	(1)と同じ	(1)と同じ	(1)と同じ	(1)と同じ 午前8時30分 合否照会サイトで発表 校内掲示 午後4時	(1)と同じ 午後4時～午後8時	
	第二次募集	3月21日(木)	3月22日(金)	3月25日(月)	3月26日(火)	3月27日(水)	3月27日(水) 3月28日(木)	

★本年度の主な変更点

(1) インターネット出願

- ・推薦入試・第一次募集・分割前期募集はインターネットで出願する。
- ・志願変更もインターネットを活用して行う。
- ・出願の流れ

① 12月20日(水)より

出願サイトにユーザID登録・志願者情報入力
・写真の登録・登録内容の一時保存

② 入力内容の承認依頼

③ 中学校による出願の承認

④ 入学査料の納付

サイト内でクレジットカード決済または納付書を持って金融機関の窓口で納付し、領収書の画像をアップロード。

⑤ 出願申請完了

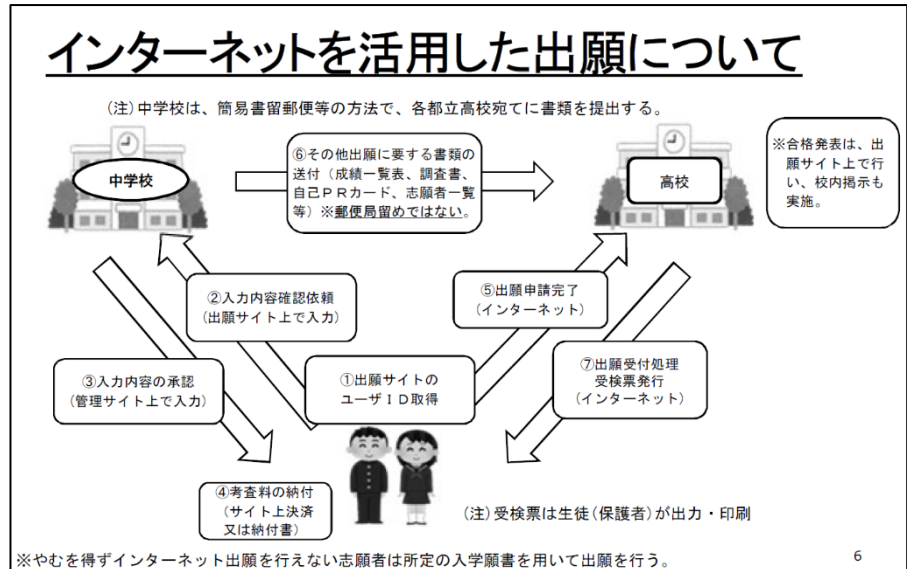
締め切り 推薦:1月18日(木)

一次・前期:2月6日(火)

⑥ 中学から都立高校へ必要書類の送付

⑦ 都立高校から受験用の発行

各自ダウンロードし、印刷したものを当日会場に持参する。



(2) 男女別定員緩和

これまで男女別定員を定めていた全日制普通科(単位制及びピコースを除く。)を含め、全都立高校の推薦に基づく選抜、第一次募集・分割前期募集において、男女合同選抜を実施する。

2 推薦に基づく入試について

(1) 応募資格

- ・ 令和5年12月31日現在、都内に所在する中学校、義務教育学校の後期課程、特別支援学校の中学部又は中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という)に在籍し、令和6年3月に都内の中学校を卒業又は修了(以下「卒業」という)する見込みの者。
- ・ 保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。
- ・ **志願する都立高校を第1志望とする者。** 合格した者は学力検査に基づく入試を受けられない。
- ・ 本校の推薦基準を満たしている必要がある。**資料1**

(2) 出願方法

① 一般推薦

- ・ 志願者は、1校1コース又は1科(1分野)に限り出願する。志願変更はできない。
- ・ 志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科(2分野)以上ある場合(芸術に関する学科を除く。)は、第2志望として他の1科(1分野)に限り指定することができる。
※同一の都立高校内に普通科とコース、農業科と家庭科等、複数の学科がある場合は、それぞれ別の学科として扱うため、一方を第1志望とした場合、他方を第2志望に指定することはできない。

② 文化・スポーツ等特別推薦

- ・ 志願者は、特別推薦を実施する都立高校の種目等のうちから1種目を指定し、1コース又は1科(1分野)に限り出願する。志願変更はできない。
- ・ **当該校の一般推薦にも出願することができる。**(考査料は特別推薦、一般推薦の両方を納付する。)

③ 理数等特別推薦

- ・ 立川高校(創造理数科)、科学技術高校(創造理数科)。1校1科に限り出願する。志願変更はできない。また、**他の推薦に基づく選抜に出願することはできない。**

(3) 出願手続き

① 一般推薦

- 1 一般推薦書 …学校が作成。
- 2 入学願書 … 志願者本人が作成後、中学校が確認、承認。(データ入力)
- 3 調査書 …学校が作成。
- 4 自己PRカード **資料2**…… 志願者本人が作成。(データ入力可)
- 5 入学考査料(全日制2, 200円) 出願サイト内で決済か、所定の納付書で納付後、画像をアップロード。

② 文化・スポーツ等特別推薦

- 1 文化・スポーツ等特別推薦書…学校が作成。
- 2 入学願書 …志願者本人が作成後、中学校が確認、承認。(データ入力)
一般推薦を同時に志願する場合、併せて1枚の願書に記入。
- 3 調査書 …一般推薦と同様(一般推薦を同時に志願する場合、1部のみ提出)
- 4 自己PRカード …一般推薦と同様(一般推薦を同時に志願する場合、1部のみ提出)
※志願者の活動の実績等を証明する書類等の写しは提出しない。
- 5 入学考査料(全日制2, 200円)…出願サイト内で決済か、所定の納付書で納付後、画像をアップロード。

③ 理数等特別推薦

- 1 理数等特別推薦書…高校所定の様式、中学校が作成。
- 2 入学願書 …志願者本人が作成後、中学校が確認、承認。(データ入力)
- 3 調査書 …一般推薦と同様。
- 4 自己PRカード …一般推薦と同様。
- 5 科学分野等の研究に関するレポート…A4判2枚以内、様式任意。
- 6 入学考査料(全日制2, 200円)…出願サイト内で決済か、所定の納付書で納付後、画像をアップロード。

(4) 検査内容

① 一般推薦

- ・ 志願者全員に個人面接を実施する。集団討論については、必要と判断した都立高校において実施することができる。また、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査のうちから、当該都立高校長が定めたいずれか一つ以上の検査を実施する。
- ・ 全ての都立高校で、調査書における各教科の観点別学習状況の評価(全27観点)又は評定(9教科)のどちらかを調査書点として点数化する。
- ・ 自己PRカードは点数化しないが、個人面接の面接資料として活用する。

② 文化スポーツ等特別推薦

- ・ 各都立高校があらかじめ定めた選考方法により総合成績により選考を行う。
- ・ 各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定める。個人面接又は集団面接及び実技検査のほか、小論文又は作文等の検査を適宜組み合わせ、選考資料として用いる。
- ・ 個人面接や集団面接に当たっては、自己PRカードを面接資料として活用する。

③ 理数等特別推薦

- ・ 各都立高校があらかじめ定めた選考方法により総合成績により選考を行う。
- ・ 各都立高校が自校の教育活動の実績や特色などに基づいて適切な基準を定める。
- ・ 個人面接、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問及び小論文の検査を組み合わせ、選考資料として用いる。なお、個人面接に当たっては、自己PRカードを面接資料として活用する。

(5) 合格者の発表

- ・ 入学願書提出校における、校内の掲示及び合否照会サイト上で行う。

(6) 入学手続

- ・ 合格者は、合格した都立高校において入学手続期間内に入学確約書を提出し、所定の納付書により、納付期間内に入学料(全日制5, 650円)を納付する。

3 学力検査に基づく入試(第一次募集・分割前期募集)について

(1) 応募資格

- ・ 令和6年3月に中学校を卒業する見込みの者又は中学校を既に卒業した者。
- ・ 保護者と同居している者で、都内に住所を有し、入学後も引き続き都内から通学することが確実な者。

(2) 出願方法

- ・ 志願者は、1校1コース又は1科(1分野)に限り出願する。
- ・ 志望する同一の都立高校内にある同一の学科内に2科(2分野)以上ある場合(芸術に関する学科を除く。)は、他の全ての科(分野)に志望の順位を付けて出願することができる。
- ・ 立川高校の理数科を第1志望とする者は同校の普通科を、科学技術高校の理数科を第1志望とする者は同校の科学技術科を、それぞれ第2志望に指定することができる。

(3) 出願手続き

- 1 入学願書 …志願者本人が作成。(データ入力)
- 2 入学考査料(全日制2,200円、定時制950円) …出願サイト内で決済か、所定の納付書で納付後、画像をアップロード。
- 3 調査書 …学校が作成。
- 4 自己PRカード …面接を実施する学校のみ。それ以外は合格後提出。
- 5 中学校英語スピーキングテスト(ESAT-J)スコアレポート(都立高校提出用)
- 6 その他、都立高校長が必要とする書類。

(4) 志願変更

- ・ 入学願書提出後、1回に限り行うことができる。
- ・ 入学願書の返却を受けた都立高校の同一のコース及び科(分野)に再提出することはできない。また、同一の都立高校内にある同一学科内の科(分野)相互間の志望順位の変更もできない。
- ・ 全日制からチャレンジスクールへの志願変更はできない。その逆は可能。
- ・ 志願変更をする者は、志願変更願を受理した都立高校長が、都立高校用の出願管理サイトで出願情報を取り下げた後、指定された期間内に出願サイト上で必要事項を入力し、返却された出願に要する書類に志願変更先の高等学校名等の必要な事項を記入し、厳封した調査書(志願変更願を受理した都立高校長から返却を受けたもの)及び新たに作成した自己PRカード(面接実施校の志願者のみ)等を指定された日時に志願変更先の都立高校長に提出し、出願サイト上で受検票の交付を受ける。

(5) 検査内容

- ・ 学力検査の教科について、全日制は、国語、数学、外国語(英語)、社会及び理科の5教科とする。ただし、芸術及び体育に関する学科については、国語、数学及び外国語(英語)の3教科とする。
- ・ エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、学力検査を実施しない。
- ・ 定時制は、国語、数学、外国語(英語)、社会及び理科の5教科のうち、3教科を下らない範囲で各都立高校が定める。また、面接を実施する。
- ・ 特定の教科の配点に比重をかける傾斜配点を行う都立高校もある。
- ・ 学力検査の教科の時間割は、次の表による。ただし、国際高校及びエンカレッジスクールとして指定された都立高

校の時間割は、各都立高校が定める。

	開始時刻 ～ 終了時刻	時間	検査教科
集 合	午前 8時30分		
第1時限	午前 9時00分 ～ 午前 9時50分	50分	国 語
第2時限	午前10時10分 ～ 午前11時00分	50分	数 学
第3時限	午前11時20分 ～ 午後 0時10分	50分	英 語
第4時限	午後 1時10分 ～ 午後 2時00分	50分	社 会
第5時限	午後 2時20分 ～ 午後 3時10分	50分	理 科

(注) 英語学力検査時間の最初の約10分間に、リスニングテストを実施する。

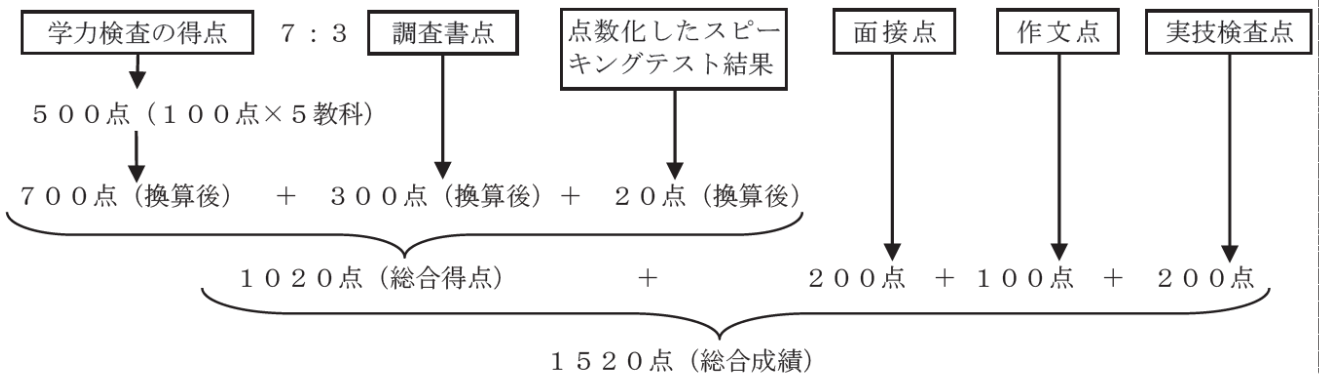
(6) 選考

- ・ 選考は、調査書、学力検査(面接、小論文又は作文、実技検査を実施する都立高校では、それらを含む。)、スピーキングテストの結果を総合した成績、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行う。
- ・ 学力検査の得点と調査書の各教科の学習の記録を点数化したものの比率については、次のとおり。
 - ・ 全日制は、7:3。
 - ・ 定時制は、7:3又は6:4のどちらかとする。ただし、芸術及び体育に関する学科は6:4とする。
 - ・ なお、学力検査の得点、調査書点、英語スピーキングテストの合計は、1020点を満点とする。
- ・ 調査書中の各教科の学習の記録(評定数値)の扱いについては、学力検査を実施する教科は評定数値を1倍、学力検査を実施しない教科は評定数値を2倍して調査書点を算出する。

学力検査の教科	1倍	2倍	評定の満点
5教科(国・数・英・社・理)	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	65点
3教科(国・数・英)の場合	国・数・英	社・理・音・美・保体・技家	75点

※エンカレッジスクールとして指定された都立高校の選考は、調査書、面接、小論文又は作文(実技検査を実施する都立高校にあつてはこれらに加え、実技検査)の結果を総合した成績(総合成績)、入学願書による志望及び都立高校長が必要とする資料により行う。また、各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出する。

(例) 5教科、傾斜配点を行わず、学力検査の得点と調査書点の比率が7:3、面接点の満点が200点、作文点の満点が100点及び実技検査点の満点が200点の学校の場合



- ・スピーキングテスト
 - ・スピーキングテストを実施し、そのスコアを調査書に記載する。
 - ・実施日 11月26日(日) 予備日 12月17日(日)

ESAT-J結果(評価)	A	B	C	D	E	F
都立高校で取り扱う点数	20点	16点	12点	8点	4点	0点

- ・受けていない生徒は不利にならないよう取り扱う。(学力検査の点数から仮のスコアを求め、総合得点に加算。)

(7) 合格者の発表

- ・合格者の発表は、入学願書提出校における校内の掲示及び合否照会サイト上で行う。

(8) 入学手続

- ・合格者は、合格した都立高校において入学手続期間内に入学確約書を提出し、所定の納付書により、納付期間内に入学料(全日制5,650円、定時制 2,100円)を納付する。
- ・入学手続期間内に入学確約書を提出しない者は、合格を放棄したものとみなす。

※インフルエンザ等学校感染症罹患(りかん)者等に対する追検査

- ・第一次募集の検査日当日に、インフルエンザ等に罹患した者又は中学校長が出席停止の措置を行った者で、第一次募集で出願した都立高校を受検することができなかった者のうち、希望する者に対して追検査の措置を行う。

4 学力検査に基づく入試(第二次募集・分割後期募集)について

- ・第一次募集で欠員が出た学校については第二次募集を行う。
- ・分割後期募集は、あらかじめ定員を設けているため、必ず実施する。

(1) 応募資格

- ・第一次募集・分割前期募集の応募資格を準用する。
- ・分割後期募集・第二次募集の入学願書受付までに終了する都立高校の入試における合格者、都立特別支援学校の高等部の入学許可予定者となり入学確約書を提出した者(入学手続を終えた者も含む。)、都立産業技術高等専門学校の入学許可予定者となった者は、出願できない。また、一人でも多くの生徒の都立高校への進学を保障する趣旨から、既に国私立高校に入学手続を終えている生徒については、以後の募集への出願を遠慮すること。

(2) 出願方法

- ・志願者は、1校に限り出願する。
- ・志望校に複数の学科、コース、科(分野)があり、募集がある場合は、第一次募集・分割前期募集と異なり、志望順位を付けることができる。(芸術に関する学科を除く。)
- ・インターネット出願は行わないため、出願に要する書類等の提出は全て紙で行い、入学考査料は所定の納付書により納付書裏面に記載の納付場所で納付し、入学願書の裏面に貼り付けること。

(3) 志願変更

- ・ 入学願書提出後、1回に限り行うことができる。

(4) 検査内容

- ・ 学力検査の教科については、国語、数学及び外国語(英語)の3教科とする。
- ・ エンカレッジスクールとして指定された都立高校においては、学力検査を実施しない。
- ・ その他の検査の実施内容は、各都立高校が定める。

(5) 選考

- ・ 学力検査の得点と調査書点の比率は、全日制は6:4とし、定時制は6:4又は5:5のどちらかとする。

(6) 選考

- ・ 入学願書提出校における校内の掲示及び合否照会サイト上で行う。

(7) 入学手続

- ・ 合格者は、入学手続期間内に入学確約書を提出し、所定の納付書により、納付期間内に入学料(全日制 5,650円、定時制 2,100円)を納付書裏面に記載の納付場所で納付しなければならない。入学手続期間内に入学確約書を提出しない者は、合格を放棄したものとみなす。

Ⅲ 私立高校について

1 推薦入試(単願推薦)

- ・ **第一志望であり、合格したら必ず入学する。**
- ・ 一般入試より合格の可能性は高い。
- ・ 原則として入試相談(12月15日(金)以降の数日間)を行ったうえで出願する。(入試相談＝高校側と中学校側が行う。)

(1) 推薦基準

- ・ 出身中学校長の推薦が必要である。本校の推薦基準は資料1
- ・ 志望する高校が定める推薦基準を満たしている必要がある。
→各学校によって基準は異なり、要項に詳しく書いていない場合もある。**必ずその学校に行って話をしてくる。**

(2) 出願

- ・ 出願開始期日 令和6年1月15日(月)以降
- ・ 願書・要項はあらかじめ出願する高等学校の説明会等に参加し取得する。
- ・ 提出書類は各高等学校が定める。→要項をよく読むこと。

(3) 選抜

- ・ 選抜開始期日 令和6年1月22日(月)以降
- ・ 「書類選考」「作文」「面接」「実技」「適性検査」等から、各私立高校が自由に選んで実施。

- ・「適性検査」は、「国・数・英」の3教科を一般入試より短い時間で行う場合が多い。学校によって違うので、学校説明会等で必ず確認する。

(4) 発表・手続き

- ・各高等学校が定める方法にて行う。
- ・入学手続きは、**発表後すぐ行うところが多いので**、入学金の準備をしておく。

2 併願優遇

- ・他の高校が第1志望であるが、第1志望が不合格だった場合には**必ずその学校に入学することを条件**に、他の一般受検より優遇してもらい、受験する制度。
- ・公立併願では、前期・一次募集の発表後すぐに手続きを行う。(後期入試・二次募集を受験することはできない。)
- ・**入試相談**を行ったうえで出願する。
- ・「公立のみ可」や「公私併願可」など、学校により条件が違う。以下【参照】私学協会HP

①各私立高校が成績等の基準を設け、その基準を満たした生徒に対して、加点するなどの優遇を行う制度で、優遇されるため合格の可能性は高まります。どのように優遇するかは学校ごとに異なります。

②受験を希望する場合、推薦入試同様、入試相談を行う必要があります。

③一般入試ですので、中学校長の推薦書は必要ありませんが、入試相談を経て受験することになりますので、12月頃の三者面談までには志望校を決めておき、担任の先生に相談する必要があります。

④併願優遇を行わない学校もありますので、事前に必ず調べてください。

⑤併願優遇はあくまで優遇ですので、当日のテストで合格ラインに届かなければ不合格になります。ですから、安全のために複数の私立高校を受験する必要があるのですが、他の私立高校との併願条件等は学校ごとに異なります。

※入試日程や試験科目、併願優遇の条件等は学校によって異なります。受験をするにあたって最も大切なことは、学校説明会や合同説明会に足を運び、学校からの説明をお聞きになり、しっかりとご自身で確認することです。

- ・ **推薦入試より基準は高い。**
- ・事前の入試相談をクリアして当日の入試得点など、高校から事前に示された条件に満たない場合は、不合格となる場合もある。(各校の説明会で確認する。)

3 一般入試

(1) 出願

- ・願書・要項はあらかじめ出願する高等学校の説明会等に参加し取得する。
- ・出願開始期日 令和6年1月25日(木)以降 ※ 都立推薦受験者は都立推薦合格発表後に出願する。
- ・提出書類は各高等学校が定める。→要項をよく読むこと。

(2) 選抜

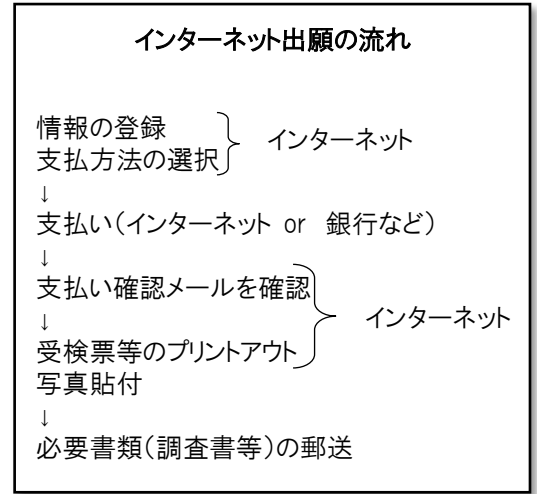
- ・選抜開始期日 令和5年2月10日(土)以降(各校が定める。) ※ 他県では異なる。
- ・学力検査、調査書、面接などにより、各私立高校が自由に行う。
- ・「国語・数学・英語・面接」が最も多いが、「2教科+面接」や「作文」を課す学校、実技試験を課す学校もある。→学校説明会等で必ず確認する。

(3) 発表・手続き

- ・各高等学校が定める方法にて行う。
 - ・発表後すぐ行くと多いので、入学金の準備をしておく。
- ※ 多くの私立高校では、都立高校合格発表日又はその翌日まで入学手続きを待ってくれる。
(「**延納願**い」等の書類が必要な場合がある。)

4 私立入試全般の注意事項

- ・入試相談を経て出願する場合(単願・併願)について
 - ・12月の三者面談までに、どこを受験するか決定する。
 - ・**12月の三者面談の前に、必ず学校に訪問する。**
- ・入試相談を経ずに出願する場合(フリー受験)
 - ・校数に制限はないが、志望順位を事前に決めておく。
 - ・受験は緊張が伴い、体力的にも精神的にも負担が大きいということを考慮して日程を考える。
- ・インターネット出願・Web出願について
 - ・インターネットでの手続きに加え、調査書等は郵送する。
 - ・情報の登録は前もってできる場合がある。



IV 今後について

1 志望校決定までの流れ

10月

➤進路希望調査…20日〆切。

➤進路面談…進路希望先について具体的に検討。

お持ちいただくといもの：

- ・会場テストの結果
- ・志望する学校の要項(推薦基準等を確認します。)

➤11月の三者面談までに…

- ・各校で開催されている高校説明会に参加し、募集要項と願書入手してください。

11月

➤後期中間考査…9年生は9教科。

➤進路希望調査…受験する学校を書きます。優先順位も決めておきましょう。

➤三者面談前…調査書の合計点(3科・5科・9科)をお伝えします。※各教科の評定ではありません。

➤三者面談資料をもって高校説明会、相談会などに参加しましょう。

12月

➤三者面談…受験に向けての確認を行います。

・「私立推薦」と「私立併願優遇」の学校はこの時点で決定してください。

お持ちいただくといもの：

- ・受験する学校の要項(面談より前に生徒から担任に見せてもかまいません。基準等の確認です。)
- ・受験する学校の願書(鉛筆で下書きしたもの)

➤推薦入試受験予定者面接練習…9学年の教員や、管理職の先生方が面接練習を行います。

2 提出書類の準備

(1) 都立高校

- ・調査書は都立高校の様式で中学校が作成し、高等学校長宛てのものを中学校から送付します。

(2) 私立高校

- ・願書は受験する高校で入手する。学校の印等が必要な場合は、12月の面談後(時)に提出。
- ・始めに鉛筆で下書きして担任に見せる。ボールペンで書いて再び担任に見せる。
- ・調査書はそれぞれの高校の要項に従う。
 - ・都立様式 → 都立高校の様式で中学校が作成する。
 - ・私立統一様式 → 私立統一様式で中学校が作成する。

- ・ 独自の様式 → 受験する高校で様式を受け取り、中学校に提出する。中学で作成する。
- ・ その他(入学金延納願い等)の書類がある場合は、中学校に渡す。

(3) その他の学校

- ・ それぞれの要項に従う。

3 中学校に提出する書類

(1) 調査書記載事項確認書(後日配布。11月に提出)

- ・ 氏名の確認(住民票に記載された氏名)と、調査書の「諸活動の記録」欄に記載する内容を確認する。

※ 「諸活動の記録」とは…道徳及び特別活動等並びにその他の学校内外の活動の内から、当該志願者において特筆すべき活動を取り上げ、その活動の事実や実績を、所見を除いた客観的な記録として記入する。

〈記入例〉

- ① 図書委員として「図書だより」の作成を担当(第3学年)
- ② ○○検定○級を取得(第2学年)
- ③ 合唱コンクールで伴奏者を担当(第1学年～第3学年)
- ④ ○○部員として区大会新人戦で優勝(第2学年)

(2) 推薦受験願・併願優遇受験願(後日配布。12月8日(金)までに提出厳守)

- ・ 都立高校・私立高校の推薦入試、私立高校の併願優遇入試の受験者が提出する。
- ・ 推薦資格者については12月三者面談で個別に伝える。

※ この書類の提出をもって、推薦書の作成、入試相談(私立高校)名簿への記載を行う。

(3) 調査書等作成願(後日配布)

- ・ 受験する学校の出願に際し、必要となる書類について記入する。

志望順位	受験(検)校 学科・コースなど(必ず記入する)	入試形態	併願優遇	願書受付期間	出願方法	出願日	試験日	発表日時	発表方法	入学手続き締切	中学校に作成を依頼		延納願[私立]			必要書
											調査書	その他	届け出	学校長印	延納書類	
1	都立初台高校 普通科コース	推薦・一般	有・無	1/12(火)～ 1/15(金)	窓口・ネット・郵送 (消印・必着)	/	1/26(金)	2/2(火) 8:30～	高校・ネット・郵送・その他	2/3(水)	都立様式 私立統一 独自様式	推薦書 () ()	有・無 公印 その他()			
2	立 高校 科 コース	推薦・一般	有・無	/ () / ()	窓口・ネット・郵送 (消印・必着)	/	/ ()	/ ()	高校・ネット・郵送・その他	/ ()	都立様式 私立統一 独自様式	推薦書 () ()	有・無 公印 その他()			
		推薦	有	/ ()	窓口	/	/	/ ()	高校・ネット	/	都立様式	推薦書	有・無			

4 書類記入時・提出時の他注意事項

・ 公的な書類は、シャチハタ(スタンプ型の印鑑)、フリクションボール(消えるボールペン)は使用しない。また、修正液・修正テープは使用しない。書き間違えたときは、二重線を引きその上から訂正印を押し、正しいものを書く。

・ 氏名の表記は住民票に記載されているものを使用し、各書類(願書・推薦書・調査書など)で統一させる。

〔例〕渡辺 渡邊 渡邊

- ・常用漢字以外の漢字を使用している場合は、常用漢字で代用可。
- ・出願や入学手続き等は、学校が指定した日に行う。(インターネット・郵送による手続きを除く。)
- ・窓口に出願に行くときは、一度学校に登校し、必要な書類を確認してから出発する。出願後は速やかに学校に戻り、受験番号の報告をして授業に戻る。
- ・今後、受験に向けた書類の扱いは慎重に。人によって提出するものは異なるので、期限を確認し、記入漏れがないよう作成し、提出する。
- ・書類を担任に提出する際には、指示されたタイミングで提出し、確認したいことなどは口頭で直接確認する。教卓に置きっぱなしにしたり、出すべき時に出し忘れたりしないよう気を付ける。
- ・願書等の記入書類は下書きを担任に見せてから清書する。

V. 最後に…

1 生徒の皆さん

・自分に合った計画を立てましょう。

目標をはっきりさせることは大事です。そしてその達成に向け、計画を立てることも重要です。第一志望の学校の入試で一番の力を発揮できるように、他の受験校の検討をしましょう。また志望校選択の際には、推薦を受けるかどうかなどを考える必要もあります。より確実に自分の目標を達成するために、自分は何をしたらよいか、ご家庭や学校とよく話し合っただけでいきましょう。

入試が近づいてきたら、試験本番さながらに同じ時程で過去問題にチャレンジしたり、入試当日と同じ時間に起きたりと、コンディションを整えていく事も大切です。入試直前まで、がむしゃらに学習しなくても良いように、余裕がもてる計画を立てましょう。

・勉強以外にも行うことがあります。

進路の決定に向け、それぞれが自分の具体的な目標に向かって努力する時期になりました。受験には皆さんの意志とご家庭の協力が必要です。皆さんの意志と行動力が重要になります。

受験勉強はとても大事ですが、学校情報を集めたり、出願方法や時期について調べたりすることも皆さんの大事な仕事です。学力が上がれば進路が決まるというわけではありません。皆さんの意志で行きたい学校を選び、手続きの仕方を調べ、複数の学校を受験するならその学校のことも調べて、書類の入手など、自分で行動を起こして進めていきます。そしてその過程はご家庭、学校とも連携して進めていきます。担任の先生とよく相談し、必要なことをお願いし、しっかりと準備して入試に臨めるようにしましょう。また、受験生は自分のことで精一杯になりがちですが、周囲の人たち、特に保護者の方の理解と協力には感謝の気持ちを忘れないでください。皆さんの成長を多くの人が応援し、支えてくれているということを自覚し、自信にしてください。

・卒業に向けて…

冬休み明けくらいから、受験のため多くの人が教室にいない日があったり、入試の結果が出る頃になると、受かって嬉しい人と落ちて悔しい人とが教室で一緒に生活したりすることになります。卒業に向け、クラスでもっと絆を深めたいと思っている時期なのに、一丸となって卒業への機運を高めよう、というのができにくくなるかもしれません。仲間との限られた時間を大切にしたい、と思っても、受験の日程の都合などで、一緒にいられる時間は減ってしまいます。

それでも卒業のもつ意味は大きいです。自分の進路が決まったらそれで終わりではありません。卒業を迎えるその時まで向上心をもって自分を磨いてください。また、頑張っている仲間を精一杯支えてください。この仲間たちと一緒に居られてよかった

たと思える卒業を迎え、社会の一員として立派に新たな一歩を踏み出すためにも、努力を続けましょう。

特に、推薦での入学を希望する人は、1月頃に進路が決まることが多く、一般試験に向けて2月まで学習を頑張る人たちとは温度差が出てしまうことがあります。早く進路が決まった人ほど、気を抜かず、勉強を続け、また学校のために卒業までに自分は何かできるかを考えて行動してほしいと思います。

2 保護者の皆様

疑問があればご連絡を

本年度は昨年度に引き続き、都立の英語スピーキングテストが行われたり、男女合同選抜が実施されたりするなど、入試には毎年変化が起きています。気になることがあればいつでも学校にご連絡ください。学校はご家庭と連携して、生徒たちの進路決定を支えています。受験用語や手続きの方法など、分からないことがあれば、本校にお問い合わせください。これからの時期こそ、ご家庭、学校、生徒本人が同じ方向を向いて頑張れるよう、時間をかけて話し合うことが大切です。

生徒達のご家庭での様子や、保護者の方との話し合い等について情報交換ができますと、中学校でのサポートが行いやすくなります。学校選びについてだけでなく、知りたいことや聞きたいことがあれば学校にご連絡ください。生徒達の更なる成長に向け、ご家庭と学校とで協力して支援していけたらと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和5年度 渋谷本町学園 推薦基準

Ⅲ 渋谷本町学園中学校推薦基準

① 目的意識

志望校の教育理念や求められている生徒像を理解して、強い進学意志をもっていること。

② 学習意欲

意欲をもって授業に参加し、学力の向上、心身の向上に積極的に取り組んでいること。

③ 生活態度

学校代表としての自覚を持ち、中学生としての基本的な生活習慣やマナーを身に付け、生活のきまりを守った身なりや行動ができること。

④ 高校の推薦基準

推薦入学を希望する学校の提示した成績基準を満たしていること。

⑤ その他

学級活動、生徒会活動、部活動などの諸活動に、熱心かつ継続的に取り組んでいること。また、進路先においても、上記1～4に当てはまる行動をとり、努力を続けられる者。

合格後も周囲に配慮し、中学校卒業まできちんと生活できる者。

⑥ 以下の事項に該当する者は、推薦入試対象者にはなりません。

- ・反社会的で処罰の対象となる行為をし、指導を受けた者。
- ・学校生活のきまりを守らず、以下のような行為を繰り返し、反省が見られない者。
(授業エスケープ、授業妨害、暴言、暴力、器物破損、菓子類飲食、その他迷惑行為。)

(A4判)

受験番号	コース・科(分野)・組	受験番号	コース・科(分野)・組
文化・スポーツ等 特別推薦		一般推薦	
		一般選抜	

自己PRカード

年 月 日

東京都立 高等学校長 殿

_____ 立 _____ 中 学 校

氏 名 _____

1 志望理由について
(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

「本校の期待する生徒の姿」を参考にしたり、学校説明会などに参加して説明を聞いたり、学校案内やパンフレットを見たりして、各学校の特色をよく理解してから記入するとよいでしょう。

2 中学校生活の中で得たことについて
(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことを選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

3年間の中学校生活において、

- ① 総合的な学習の時間で学んだこと
- ② 学校内での学級活動、生徒会活動、学校行事や部活動など
- ③ 学校外での文化的な活動、スポーツ活動、ボランティア活動や資格・検定などの取得
- ④ その他の活動

などの中から、特に伝えたいことを選び、あなたがその体験から得たことについて具体的に記入しましょう。

3 高等学校卒業後の進路について
(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

- ① 今自分が思い描いている将来の夢や目標
- ② 将来なりたい職業、その職業に就きたい理由、その職業に就くことができるよう努力していることなど
- ③ 高校卒業後の具体的な進路など

について、自分が考えていることを具体的に記入しましょう。

〔注意〕 1 志願者が黒のボールペンで記入する。
なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
2 推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志望する者は、この自己PRカードを出願時に提出する。また、面接の対象となる者、一般の学力検査における引換生徒の受検についての措置又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。

記入上のアドバイス

将来に向けての夢や目標と、進学する動機を明確にしておきましょう。

志望校を選択した理由、入学後の抱負などをしっかりと書きましょう。

総合的な学習の時間での取り組みから、あなたが学んだことを具体的に記入しましょう。

学級活動、生徒会活動、ボランティア活動、地域の活動などの学校内外での経験を通じ、あなたが得たことを具体的に記入しましょう。

学校行事、部活動などへ参加し、そこからあなたが得たことを具体的に記入しましょう。

各種の資格・検定の取得については、その目的や取り組み方などについても触れて記入しましょう。

高校卒業後どのような職業に就きたいか、また、その理由やその職業を目指すためにどのような努力をしているかなどについて記入しましょう。